

岐阜農林事務所の普及活動状況

平成25年12月31日現在

今月の重点活動

■ ブロッコリー **年明け良品出荷に向けての研修会**

定植後の干ばつや低温等の影響を受けて生育が遅れているが、年明けのブロッコリー出荷での良品生産をめざして、11/28から12/12にかけて各地で栽培研修会を行なった。生産者の中には大きくなるか不安の声もあったが、農業普及課はとにもかくにも肥料切れさせないこと、収穫適期を見極めることを重点的に指導した。



■ いちご **パソコンを使ってハウス内環境制御**

産地では生産量の安定化を図るため、パソコンを使ったハウス内環境制御を進めている。本年は7戸の生産者が新たに導入した。昨年導入した試験圃場では、温度、湿度、二酸化炭素の測定条件に適合した環境を作ったことから、増収はもちろんのこと、燃料の削減にもつながった。農業普及課は、適正な環境制御について引き続き検討を行っており、このシステムを一層普及できるよう進めている。



活力ある新産地づくり

■ アスパラガス **ハウス立茎長期どり栽培による高畦栽培技術の実施**

主要産地に成長した岐阜地域であるが、生育不良が発生しやすい粘質土壌の水田にも作付けているため、基本技術の励行だけでは安定的な増収が認められず、生産者からも低収要因の解明や改善に対する要望が挙がっている。そこで、香川県農業試験場が取り組んでいる高畦栽培技術を現在検討している。高畦とチューブ灌水・施肥を組み合わせたこの技術は、安定収量だけでなく、畦の土の入れ替えにもつながり、今後想定される改植に有利であると注目している。



【高畦栽培風景（香川県）】

売れる農畜産物づくり

■ かき **せん定研修会**

次年度の柿生産に向けた間伐・せん定講習会を、岐阜市15～18日、瑞穂市14,15日、本巣市21,22日、北方町20日に行なった。各産地とも今年の反省を踏まえ、間伐、適正着果の重要性を説明し、実技を交えて指導した。今後は各地区独自の研究会、学習会、グループ等の研修会や早秋・太秋の研修会が予定されており、高品質な柿生産に向けて次年度の取り組みが始まっている。



■ ほうれんそう **べと病対策情報を発信**

トンネル被覆を11月中旬より順次開始して生育促進を図っているが、現在までの出荷量は平年より少ない状況にある。12月に入り、レース1～7に抵抗性を有する品種にもべと病が発生したことから、農業普及課は被害蔓延防止の対策情報を発信した。

■ えだまめ **26年産えだまめの準備**

25年産もコナジラミ類等の害虫発生が問題となったため、農業普及課は1月より農業経営課岐阜駐在、病害虫防除所とともに、解決に向けた調査を開始する。また、面積拡大のネックとなっている選別作業時間の短縮や機械化に向けた情報も収集している。

■ 守口大根 **本格的な出荷開始**

12月9日に本格的な出荷が始まった。天候不順の中、こぶ症の発生、短根、根茎が細い圃場

が散見されている。加工大根も肥大遅延などにより契約数量の40%程度減が見込まれる。

■花き **フランネルフラワーの秋出荷終了**

管内の秋出荷はほぼ終了し、前年並みの約65,000鉢が出荷された。なお、今年も市場の引き合いは強く、単価の落ち込みもなかった。農業普及課は、消費者購入後の日持ち向上に向けた界面活性剤を活用した実証ほの設置や研修会の開催に取り組んできたが、一部の生産者では種子の発芽率がバラついて安定生産に影響していることから、農業技術センターの協力を得ながら今後調査を行う。

■水稲種子 **採種組合の活動支援**

12月12日に採種組合役員会が開催され、農業普及課は、本年産の生育経過、種子の状況、来年度の暦の考え方等について説明した。今年はおもみ枯細菌病の発生があり、生産者により収量差があったものの、品質は良好で、目揃え会でも合格種子が期待できそうであると報告した。合わせて、近年立て続けに発生しているおもみ枯細菌病を考慮し、来年度の本田防除薬剤を変更し、更なる良質種子生産を進めていく。

戦略的な流通・販売

■加工キャベツ **各務原市での収穫終了**

各務原市では蘇原営農の3回目の収穫が12月3日に行われた。1個のサイズが大きかったことから運搬用ゲージが不足して、3回目は少し遅れた収穫となったが、平均単収は5.5t/10aで昨年より多く、まずまずの収量に生産者は喜んでいる。



多様な担い手の育成・確保

■新規就農 **最終回となったいちご塾**

いちご栽培希望者を増やすため、農業普及課は、いちご生産組織とJAぎふと協力して「いちご塾」を開催しているが、最終回の今回は、実際に収穫した後、出荷規格に従ったパック詰めを行った。受講者の中には、今後いちご研修所に入校することが決まった方、いちご栽培はあきらめ、他の作物を作る方など、自分の進路を決めている。

■女性農業経営アドバイザー **岐阜市農業委員での活動発表**

12月9日に岐阜市農業委員会研修会が開催され、女性農業者の活動紹介について依頼があり、農業普及課は県担い手リーダーの認定や役割など制度を説明した。岐阜市の女性農業経営アドバイザー江崎さんからも自身の活動を紹介し、参加者に女性農業経営アドバイザーの活動をPRした。



魅力ある農村づくり

■営農組合 **能郷営農組合が視察受け入れ**

小規模高齢化集落における営農組織設立の成功事例を学びたいと、揖斐川町谷汲地区から能郷営農組合へ視察の依頼があり、12月11日に受け入れ対応した。能郷地域の農業の概要や組織づくりの経過、今後の方向などについて組合員や市役所から説明があった後、全員で現地を巡回した。

